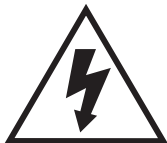




**Spider<sup>®</sup> IV**

**取扱説明書**



## 注 意

感電の恐れあり  
キャビネットをあけるな



**警告：火災や感電の原因になりますので分解・改造は厳禁。修理・調整は販売店にご依頼ください。**

**警告：火災や感電の原因になりますので本機を雨や水がかかるところには設置しないでください。**



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

### 本書の記載について:

Line 6 及び M9は、Line 6社の登録商標です。このマニュアルに掲載されている写真、イメージ、登録商標、アーティスト名はそれぞれの所有者の権利に基づくものであり、このマニュアルではLine 6のデジタルモデリングテクノロジーを駆使し、独自に開発された音を適切に表現するためだけに使用されています。また、これらの写真、イメージ、登録商標、アーティスト名の使用において、いかなる協力やエンドースメントも関わるものではありません。

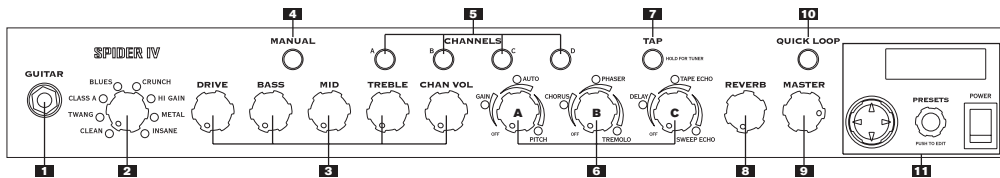


安全上のご注意を良くお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。



- 本書の注意事項を良くお読みください。
- 本書の注意事項を守ってください。
- すべての警告を守ってください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機を水気の近くで使用しないでください。
- お手入れは必ず乾いた布で拭いてください。
- 通気口をふさがないようにください。取扱説明書で指定された場所に設置してください。
- 適切にアース接地されたコンセントに接続してください。
- 本機の電源プラグが合わないような場合は、電気工事を依頼し適切なコンセントに交換してください。
- 電源コードの接続部を無理に曲げたり踏んだりしないようにしてください。
- 必ず指定された付属品を使ってください。
- 本機の設置は弊社の推奨するカート、スタンド、ブラケットなどを使用してください。移動式のカートを使うときは転んでけがをしないように注意してください。
- 雷が近づいたり、長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- パワーサプライのコードやプラグが損傷したとき、内部に異物が入ったり液体がこぼれたとき、本機を落としたときなど、修理が必要な時はサービスセンターに依頼してください。
- 水滴のかかる場所での使用や保管はしないでください。本機の上に花瓶のような液体の入ったものは置かないでください。
- 警告:火災や感電の原因になりますので本機を雨や水のかかるところには設置しないでください。
- 本機はコンセントの近くに設置し、容易にプラグへ手が届くようにしてください。
- パワーサプライのプラグは必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- 大音量や不快な音量で長時間使用すると難聴や聴力障害を起こすことがあります。常に安全な音量で使用することを心がけてください。
- 次のような場合には修理が必要です。
- パワーサプライのコードやプラグが損傷したとき
- 本機の内部に異物が入ったり、液体が入ったりしたとき
- 雨天や湿度の高いところで使用し、故障したとき
- 本機が落下したりして損傷したとき
- 製品に異常や故障が生じたとき





## フロント・パネルのコントロール類と接続端子

- 1. Guitar In** - ギターをここに入力します。
- 2. アンプモデル** - このダイヤルを回して、16種類のアンプモデルから選びます。インジケータの点灯色(赤か緑)で、各モデルのカテゴリ内にある2種類のモデルのどちらが選択されているかがわかります。選択したアンプモデルに最適なトーンとエフェクトが自動設定されるので、そのまま演奏できます。このノブを回すと、すでにロードされているアンプモデル名と、**DRIVE**、**BASS**、**MID**、**TREBLE**、**CHAN VOL**、**REVERB**の各ノブ設定がディスプレイに一時的に表示されます。ノブを右に回すほどヘヴィーで歪んだモデルサウンドになります。
- 3. トーンコントロール** - **DRIVE**ノブは普通のアンプでいうところの音量ノブやゲインノブで、サウンドをどれだけ「濁らせたり歪ませる」かを設定します。**BASS**、**MID**、**TREBLE**設定は最適な音色調整ができるよう、各アンプモデルごとにカスタム化されています。各ノブを回すと、**DRIVE**、**BASS**、**MID**、**TREBLE**、**CHAN VOL**、**REVERB**の各ノブ設定がディスプレイに一時的に表示されます
- 4. Manual** - このボタンを押すと、ディスプレイに表示されている現在のプリセット設定が無効になり、各ノブの実際の位置で設定値やサウンドが左右されます。
- 5. CHANNELS(チャンネルメモリー)** - 4系統のプログラマブルチャンネルには、素晴らしいサウンドのプリセット音があらかじめ入っています。プリセットを保存するには、**A**、**B**、**C**、**D**ボタンのいずれかを2秒間押し続けます。

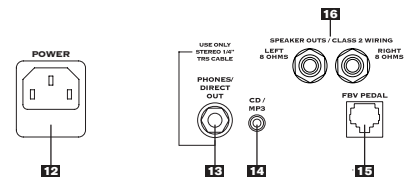
- 6. スマートコントロールFX** - 各ノブで簡単・迅速にエフェクトを選択します。**注意事項**: 各スマートエフェクトには別のエフェクトが隠れています。ディスプレイのすぐ下にある**PRESETS**ノブで、この隠れたスマートエフェクトを選択します。

**[A]ノブ**で**GAIN**、**AUTO**、**PITCH**の中から選択し、それぞれ「最小～最大」の範囲で設定します。ディスプレイには有効なエフェクトが表示されます。ノブを左いっぱいに戻すとオフになります。

**[B]ノブ**で**CHORUS**、**PHASER**、**TREMOLO**の中から選択し、それぞれ「最小～最大」の範囲で設定します。ディスプレイには有効なエフェクトが表示されます。ノブを左いっぱいに戻すとオフになります。

**[C]ノブ**で**DELAY**、**TAPE ECHO**、**SWEEP ECHO**の中から選択し、それぞれ「低～高」の範囲で設定します。ディスプレイには有効なエフェクトが表示され、**TAP**インジケータの点滅でディレイタイムを示します。ディレイタイムを変更するには、**TAP**ボタンをタイミングに合わせて数回押し続けます。ノブを左いっぱいに戻すとオフになります。

- 7. TAP** - TAPボタンを数回押してディレイ/モジュレーションエフェクト(**A**、**B**、**C**ノブ)のテンポを設定します。
- 8. REVERB** - ルームリバーブの効果を調整します。ノブを回すと現在の設定がディスプレイに表示されるので、表示中に**PRESETS**ノブでリバーブを**LUX SPRING**から**DARK HALL**までの間で変更します。
- 9. MASTER** - トーンを変えずにアンプ全体の音量を調整します。



## 10. QUICK LOOP - 本機にはループ機能が搭載されています。[QUICK LOOP]ボタンを押すと、ルーパーが有効になります。

### ループの録音

- A) TAPボタンを押してループのスタートポイントを設定し録音を始めます。
- B) TAPボタンを押してループのエンドポイントを設定し再生を始めます。
- C) TAPボタンを押して再生を止めます。

### オーバーダビング

- A) ループ再生中にTAPボタンをしばらく押してから離すと、オーバーダビングのスタートポイントが設定されます。
- B) TAPボタンを押してオーバーダビングを終了し、再生を始めます。
- C) TAPボタンを押して再生を止めます。

### ループのクリア

- A) ループ再生を止めます。
- B) TAPボタンを3秒間押したままにします。
- C) ディスプレイに、ループがクリアされたことが表示されます。

ループ・コントロールモードを終了するには、**QUICK LOOP**ボタンをもう一度押します

## 11. PRESETS/PUSH TO EDIT- コントロール類を操作すると、ディスプレイには様々な「ページ」が表示されます。

### プリセットモード



プリセットタイプ(BANDS、STYLE、USER)を選択  
▲このプリセットタイプの次/前のフォルダを選択



現在のフォルダで次/前のプリセットを選択

### エディットモード



パラメータのグループを選択  
▲グループ内の次/前のパラメータを選択



選択パラメータを調整

### モメンタリ・モデル・セレクト



画面表示中に回して別のモデルを選択

## リア・パネルのコントロール類と接続端子

**12. POWER(電源)端子とヒューズ** - 付属の電源コードを接続します。ヒューズについてはリアパネル上の表記をご覧ください。

**13. PHONES/DIRECT OUT** - ステレオのヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンを接続すると、スピーカーから音は出力されません。この端子はダイレクト出力としても使えます。その場合は、ステレオ1/4インチTRSフォーンプラグケーブルでミキサーまたは録音機器に接続します。

**14. CD/MP3** - オーディオ音源を接続して、自分の好きな音楽やドラムマシンを聴きながら演奏できます。オーディオの音量は接続機器の出力コントロールで調整してください。まず機器の音量を最小にして接続し、徐々に好みの音量に調整してください。

- 15. FBV** - Line 6 FBV Express MkII™ を接続すると、チャンネル切り替え、タップテンポ設定、ワウ／ボリュームコントロール、チューナー機能などが便利に使えます。Line 6 FBV Shortboard MkII™ コントローラを接続すると、チャンネル切り替え、エフェクトのオン／オフ、ワウ／ボリュームペダル、チャンネルメモリーの追加、チューナー機能、タップテンポ機能が操作できます。(オリジナルのFBVシリーズ・コントローラにも対応しています。)
- 16. SPEAKER OUTS** - 150モデル、HD150モデルにのみ搭載しています。各端子は並列配線で負荷8Ω、両端子使用時には4Ωとなります。接続はギターケーブルでなく、必ずスピーカーケーブルを使用してください。

**アドバンスド・ガイド、詳細は [www.line6.com/manuals](http://www.line6.com/manuals) をご覧ください。**

ウェブサイトに掲載のアドバンスド・ガイドでは、Spider IVの高度な編集機能について説明しています。アンプモデル、エフェクトモデルの初期設定のカスタム化、エフェクトパラメータの詳細な編集方法、ブースト機能、高度なループ機能の使い方などが習得できます。Spider IVの製品登録は、LINE6のサイトをご覧ください。オンラインで行うか、あるいは同梱の登録カードにご記入の上、郵送してください。製品を登録することによって、万一問題が生じた場合に補修サービスが受けられるほか、キャンペーンへの参加やスペシャルオファーを受ける資格が得られます。